

熊本県立荒尾支援学校進路便り

わーく & らいふ

令和5年度第8号(通巻82号) 11月20日発行

今回は高等部一般学級の第Ⅱ期現場実習・報告会と高等部一般学級の校舎移転後の中学部一般学級との交流及び共同学習の取組について紹介します。

【シリーズ】キャリア教育 高等部一般学級「第Ⅱ期現場実習」

高等部一般学級では、3年生及び2年職業コースが9月4日～15日の10日間、第Ⅱ期現場実習を行いました。3年生にとって今回は進路を決める実習で、全員一斉に実習に行く最後の機会となりました。それぞれの実習先で、落ち着いて活動に参加する生徒、元気よく挨拶・返事・報告を行う生徒、自信をもって作業に取り組む生徒など、それぞれの生徒のがんばる姿がたくさん見られました。



◆第Ⅱ期現場実習報告会 9月22日(金)

今回の報告会は、高等部一般学級が岱志高校内へ移転したことをアピールする意味も含め、岱志高校の体育館をお借りして4年ぶりに大規模に執り行いました。在校生、保護者に加え、初の試みとして、実習先の方々、荒尾市、就業・生活支援センターの方々、岱志高の校長先生をお招きして実施しました。大勢の前で緊張の面持ちも見られましたが、実習で取り組んだ作業や自己評価、今後の目標などについて、話すスピードや視線、姿勢などに気を付けながら堂々と発表する姿が見られました。今後、進路が決まる生徒、次の

実習へチャレンジする生徒など、それぞれ動きが変わってきますが、一致団結して全員で進路を掴み取ってほしいと思います。



◆中学部一般学級と高等部職業コースの交流及び共同学習 9月26日(火)

中学部一般学級Ⅱ課程生徒7名と高等部一般学級職業コースの生徒8名で交流及び共同学習を行いました。熊本県教育委員会が実施する技能検定種目（テーブル拭き）を通じた交流で、高等部生徒が中学部生徒に教えたり、共に実演し合ったりしました。

高等部の生徒は「楽しく交流ができてよかったです。」「最初は緊張したけど慣れると話しやすくいろいろと教えることもできたのでよかったです。」などと感想を述べていました。中学部生徒は「やさしく手順を教えてくださいましてありがとうございました。」「先輩方と一緒に交流ができてとても嬉しかったです。」などと感想を述べていました。今後も継続して取り組んでいきたいと思っています。



<進路目安箱>

<編集後記>

保護者の皆様には、お忙しい中「目標宣言会」や「報告会」へのご参加ならびに実習期間中のご支援・ご協力をいただき、ありがとうございました。

今年度から高等部一般学級校舎は離れていますが、実習や学部間の交流など、今回のように取組を紹介できればと思います。



☆進路に関する疑問・質問は、上のQRコードからどうぞお寄せください。